

## 2026年度生産性向上支援訓練オープンコース コース案内

主催：滋賀職業能力開発促進センター（ポリテクセンター滋賀）

（問い合わせ先）生産性センター業務課 TEL：077-537-1176

コース番号	026	訓練分野	A.バックオフィス－新技術活用
コース名	生成AIの活用		
正式なコース番号・コース名	26-25-12-132-026 ※リーフレットには「コース番号」は左記の末尾3桁を記載しています。 一 ※正式なコース名は、上記「コース名」と異なる場合のみ記載しています。「コース名」は受講者募集用に設定したものです。助成金の手続きの際には正式なコース名を記載してください。		
開催日時	2026年11月13日（金） 9：30～16：30（昼休憩 12：30～13：30） 受付開始 9：10 9：20までにご着席ください。オリエンテーションを行います。		
会場	ポリテクセンター滋賀 滋賀県大津市光が丘町3-13 JR石山駅から徒歩10分、京阪唐橋前駅から徒歩5分 無料駐車場有（事前予約不要） TEL：077-537-1176		
対象者	中堅層・管理者層 ●これから生成AIを活用したい方 ●生成AIの仕組みや導入事例を知りたい方		
習得するスキル等	●生成AIの概要とビジネスの現場における、具体的な活用シーン等 ●AIと協働することによる業務の質とスピードを高める技術		
ポイント	・生成AIは、プロンプト（入力内容）次第で回答の質が大きく変わります。そのため、演習を通じてプロンプト（入力内容）の良い例と悪い例の違い、生成AIの可能性を実感いただきます。 ・生成AIを日常的に活用できるようになるまでのハードルを説明します。		
内容	1 生成AIの概要 (1) 生成AIとは 生成AIの作られ方の概要、生成AIの実用化が与える影響の大きさ、 生成AI活用の成功例 (2) 生成AI利用における注意点 法的リスクや倫理面、安全性に関する注意点 (3) 生成AIが得意とすること、苦手とすること、利用時のコツ【演習】 生成AIの得意・不得意、プロンプトエンジニアリング (4) 生成AIの例とその特徴 代表的な生成AIの特徴の紹介  2 生成AIの活用事例と今後の展望 (1) 文章生成・要約・画像生成【演習】 メール文作成、長文要約、議事録作成、企画書作成方法 (2) 生成AIの社内活用・展開【演習】 RAG、社内ルール作成の必要性、生成AI利用の習慣化までのハードル (3) 今後の展望 発展の方向性、生成AIのインフラ化、アシスタント化		

(参考1) 生成AI

入力した指示に合わせて、新しいコンテンツ（文章、画像、動画など）を自動で作ってくれるAI

(参考2) RAG

外部のデータベースや文書を検索して、その情報をもとに回答を生成する仕組み

実施機関	株式会社東京ナレッジプラン		
定 員	15 人	受 講 料	3,300 円 (税込)
使用ソフトウェア	Copilot等 実施機関・講師からのメッセージ		
持参品等	筆記用具		
備 考	実施機関が準備したパソコンを使用して演習を行います。生成AIを使用した演習を行います。機密情報を入力しないなど講師が注意事項を説明しますので、遵守してください。電子ファイルの持ち帰り及び提供はできません。	生成AIを活用するのが当たり前の時代が来ると、多くの人が考えているかと思います。一方で、もうすでに生成AIを業務に活用する第1歩を踏み出し、実際にうまく活用できている人や会社が大半を占めているかというと、そうではないと思っています。 このコースでは、生成AIに触れてもらいながら第1歩をうまく踏み出し、さらには社内に展開いただきための内容となっております。ぜひ世の中の変化に追いつき、追い越すためのきっかけにしていただきたいです。	